

## 特別調査「中小企業の将来を見据えた事業承継について」

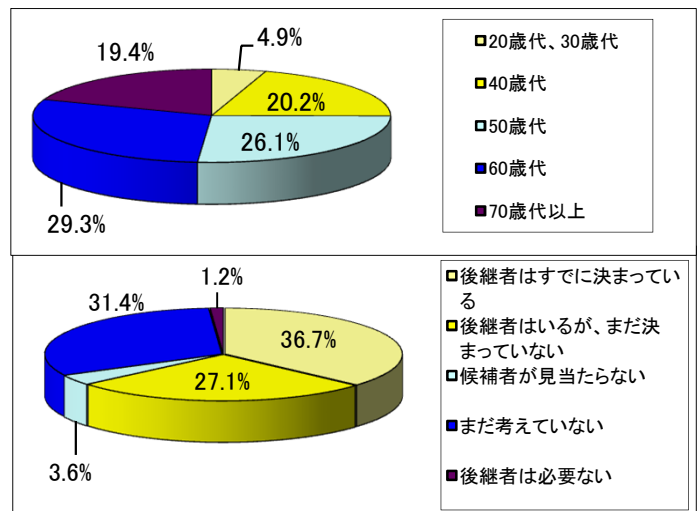
問1 貴社の社長（代表者）の年齢階層はいずれに属しますか。次の1～5の中から1つ選んでお答え下さい。また、貴社の後継者問題について最もあてはまるものを6～0の中から1つ選んでお答え下さい。

（社長の年齢階層）

1. 20歳代、30歳代
2. 40歳代
3. 50歳代
4. 60歳代
5. 70歳代以上

（後継者について）

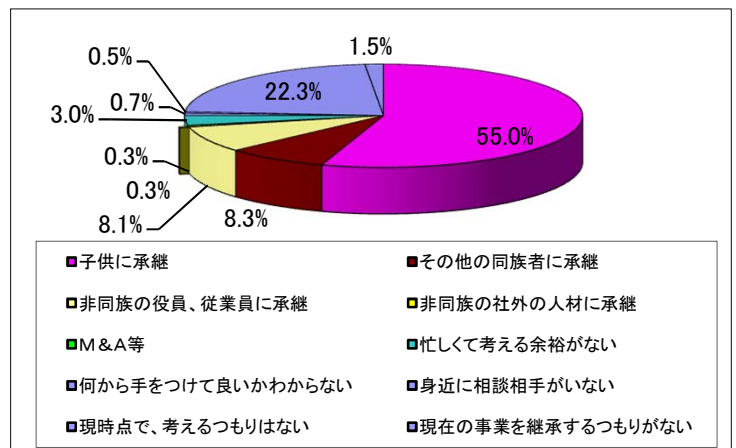
6. 後継者はすでに決まっている
7. 後継者はいるが、まだ決まっていない
8. 候補者が見当たらない
9. まだ考えていない
0. 後継者は必要ない（事業譲渡希望、廃業予定など）



社長の年齢階層は「60歳代」が最も多く29.3%、次いで「50歳代」が26.1%、後継者について最も多い回答は「すでに決まっている」36.7%、次いで「まだ考えていない」31.4%という結果となりました。

問2 貴社の現時点における事業承継の考え方について最もあてはまるものを、次の1～0の中から1つ選んでお答え下さい。

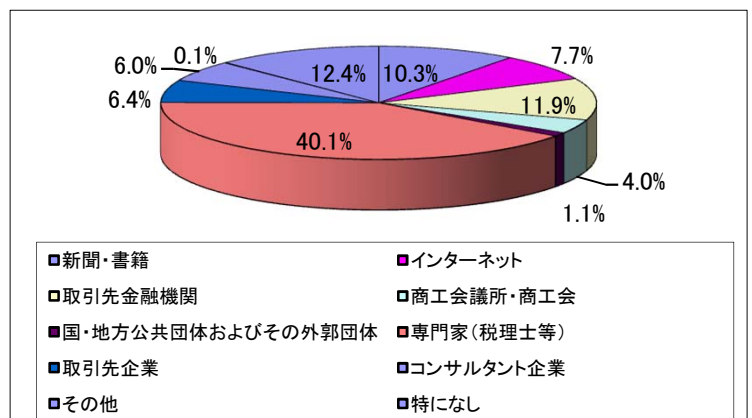
1. 子供（娘婿などを含む）に承継
2. その他の同族者（兄弟、親戚など）に承継
3. 非同族の役員、従業員に承継
4. 非同族の社外の人材に承継
5. M&A（第三者への事業譲渡）等
6. 忙しくて考える余裕がない
7. 何から手をつけて良いかわからない
8. 身近に相談相手がいない
9. 現時点で、考えるつもりはない
0. 現在の事業を継続するつもりがない



現時点における事業承継の考え方について、最も多い回答は「子どもに承継」55.0%、次いで「現時点で考えるつもりはない」22.3%という結果となりました。

問3 事業承継に関し、情報や知識の入手先について、次の1～0の中から2つ以内で選んでお答え下さい。

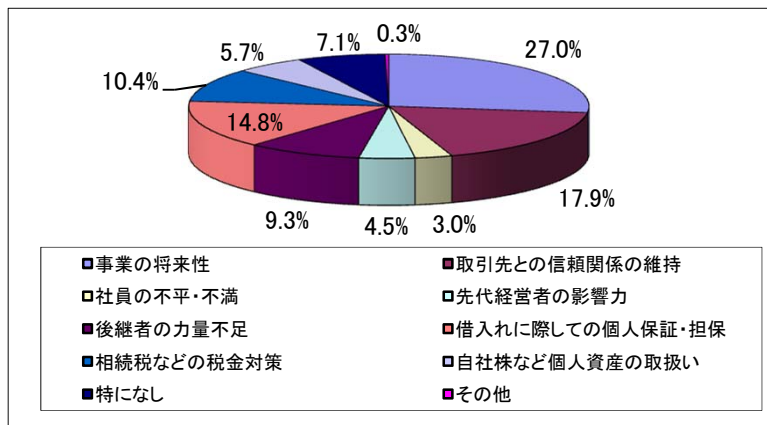
1. 新聞・書籍
2. インターネット
3. 取引先金融機関
4. 商工会議所・商工会
5. 国・地方公共団体およびその外郭団体
6. 専門家（税理士等）
7. 取引先企業
8. コンサルタント企業
9. その他（ ）
0. 特になし



事業承継に関する情報や知識の入手先について、最も多い回答は「専門家（税理士等）」40.1%という結果になりました。

問4 貴社では事業承継を行おうとする際に、どのようなことが問題になると考えられますか。次の1～0の中から3つ以内で選んでお答え下さい。

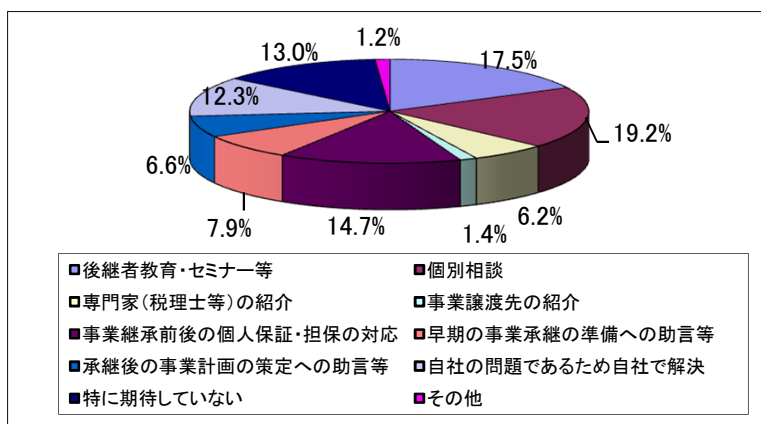
1. 事業の将来性
2. 取引先との信頼関係の維持
3. 社員の不平・不満
4. 先代経営者の影響力
5. 後継者の力量不足
6. 借入れに際しての個人保証・担保
7. 相続税などの税金対策
8. 自社株など個人資産の取扱い
9. 特になし
0. その他 ( )



事業承継を行おうとする際に問題になると考えられることについて、最も多い回答は「事業の将来性」27.0%、次いで「取引先との信頼関係の維持」17.9%という結果になりました。

問5 中小企業が円滑に事業承継を進めていく上で、信用金庫には何を期待しますか。信用金庫に対して期待していること、もしくは今後期待したいことについて、最もあてはまるものを次の1～0の中から1つ選んでお答え下さい。

1. 後継者教育・セミナー等
2. 個別相談
3. 専門家（税理士等）の紹介
4. 事業譲渡先の紹介
5. 事業承継前後の個人保証・担保の対応
6. 早期の事業承継の準備への助言等
7. 承継後の事業計画の策定への助言等
8. 自社の問題であるため自社で解決
9. 特に期待していない
0. その他 ( )



中小企業が円滑に事業承継を進めていく上で信用金庫に期待することについて、最も多い回答は「個別相談」19.2%、次いで「後継者教育・セミナー等」17.5%という結果になりました。